

海外進学・留学の不安 TOP 5

～みんなの不安と、解消のためにできること～

新しいことにチャレンジしようと思うとき、何も考えずに飛び出せる人より、不安で頭の中がいっぱいになる人の方が多いのではないのでしょうか。海外留学ともなると、知らないことが多くて、「なんとなく不安」という人も少なくありません。

今回は、留学を考える中高生約 100 人にアンケートを行った、「留学を考えるうえでの不安な点」TOP 5 と、その不安を解決する方法、軽くする方法をご紹介します。

1位：英語力

「英語が通じるかどうか不安です」「英語がわからなくて授業についていけないのではないかと不安です」と、中高生において一番の不安は英語力。日本で外国の人を相手に英語で話す経験があまりない人にとって、いきなり英語だけの世界に入っていくのは誰でも不安です。でも実は、中学3年間の英語力があれば、日常の生活において必要な会話はできるはず。ただ、ネイティブが話す早口の英語や、各国からの留学生の英語を聞き取るには少し慣れも必要です。

そのため、遅くとも留学1か月前くらいから、英語のシャワーをたくさん浴びて、耳慣らしをしておきましょう。例えば、映画や海外ドラマを英語で観るとか、ラジオの英語講座を毎日聞くとか、それだけでもリスニング力はかなり上がります。そして、その中のフレーズをシャドーイングすることで、スピーキング力アップのトレーニングになります。もちろん早くからやっておけば、それだけ自信もついて安心して留学に臨めるので、留学しようと思ったらすぐにでも始めたいですね。

海外の大学へ進学する場合には、まず出願時に英語力の証明をしなければなりません。出願時に必要な点数が取れていない場合は、条件付き入学制度を利用することができます。この場合、まずは現地の語学学校等で、必要なスコアの取得や修了レベルを目指す間に、アカデミック英語と言われるエッセイの書き方や、授業でのノートの取り方といった、大学の授業を受けるために必要なスキルも身に付けていきます。

今はオンライン英会話やオンライン留学の機会も豊富にあるので、それらを利用して留学前に英語の不安を解消するのもお勧めです。

2位：留学費用

費用については、「全く分からないから不安」という声が多く聞かれます。まずは、実際に何にいくら必要かということを確認しましょう。GE-NET20 のウェブサイトには、主な国の大学の授業料を紹介していますので、まずこちらを参考にご覧ください。

<https://global10.tokyo/student/basic/tuition>

アメリカのアイビーリーグの大学やカリフォルニア大学などは、年間費用が500万円以上になるところも多いので、ご家族とよく相談して、しっかりとした資金計画を立てましょう。また、奨学金に応募する場合には、そのための対策も早めに取り組むと良いでしょう。同じアメリカでも留学生の少ない州の大学などは、カリフォルニアなどの人気地域にくらべて授業料が安いというえに、留学生受入れ促進のために、州立大学であっても留学生に奨学金を出しているところがあります。

また、国公立の大学が中心であるカナダ、イギリス、オーストラリア、ニュージーランドの年間費用は、平均300~400万円前後です。生活費は、大学寮の場合は学期ごとの支払い、ホームステイなどであれば2~4週間ごとの支払いになることが多く、また授業料も多くは学期ごとの支払いになります。そうした支払いのタイミングも調べていくと、ご家族の資金計画もしやすくなります。

一方で、マレーシアのように、欧米に比べて留学費用がかなり抑えられ、日本の大学に行くのと同じくらいの費用負担で留学できる国や、日本で学ぶよりも安くなる国もあります。経済的な理由で留学を諦めてしまう前に、留学相談機関や留学支援会社も利用して情報を集め、資金対策を練っていきましょう。

3位：留学先の環境

留学を取り巻く環境として、「気候が良いところ」「大都会ではなくて中都市」「交通の便が良いところ」など様々な希望が挙げられます。ここでは不安というよりも、気になること、条件に挙げたいことと言った方がよいのかもしれませんが。学校への通学環境や、週末に遊びに行けるところがあるかなど、便利な都会に住んでいる高校生にとっては、特に気になるところかもしれませんね。

ただし、大学留学の場合には、キャンパス内に学生寮や学生アパートがある大学であれば、公共の交通機関が発達していなくても、それほど不便を感じないかもしれません。また、キャンパス内に複数の映画館がある大学や、24時間使えるトレーニングジムがある大学、インターナショナルなメニューを楽しめるカフェテリアが自慢の大学など、設備の充実した大学がたくさんあります。ウェブサイトで、こうした施設をバーチャルツアーで回ることができる場所もあるので、気になる大学や行きたい大学が決まってきたら、チェックしてみましょう。

4位：留学先での人間関係

アンケートでは、「学校で友達ができるだろうか」「ホストファミリーと相性が合わなかったらどうしよう」「アジア人だからと差別が不安」などの声が聞かれます。留学生生活を左右することもあるのが、こうした留学先での人間関係です。新しいグループに仲間入りするときは、国内でも同じ不安をもつもの。留学が違う点は、それが異なる文化的背景をもつ人た

ちだという点です。

事前の準備としては、まず自分という人間を、周りの人に早く知ってもらえるような自己紹介を準備しておきましょう。趣味や特技、興味関心など、自分のことを伝えられると、同じ趣味や興味を持つ人が向こうから声をかけてきてくれるかもしれません。日本のことを勉強しておくのも、日本に興味のある人が声をかけてきたときに大変役に立ちます。もし、ホストファミリーやルームメイトと相性が合わず、それが大きなストレスになるなら、ホームステイコーディネーターや寮の責任者などに相談して、解決の糸口を探るのも大切な行動です。

5位：現地の治安

治安の良さに関しては、日本は世界トップクラスと書いていいでしょう。留学して、治安の悪さをすごく感じるかという点、実は、意外に日本と同じくらい治安は良かったという印象で帰ってくる人も少なくありません。留学で大きな事件に巻き込まれるケースは数からいえばごくわずかと言っていいでしょう。

しかし、日本と同じ感覚で、高級なブランド品を身に着けて人通りの少ない夜道を一人で歩いて帰宅したり、深夜の地下鉄やバスに乗ったりすれば、危険な目に遭っても当然と言われてしまいます。

留学初日には通常、学校のオリエンテーションで、安全に留学生生活を過ごすための情報が提供されます。そこでの注意、またホストファミリーからの注意を、しっかり守った行動ができれば、日本にいるのと同じくらい、治安への不安を感じることはありません。

留学前には、外務省の海外安全ホームページ (<https://www.anzen.mofa.go.jp/>) で危険情報が出ていないかを確認し、「たびレジ登録」をしておくと、登録した地域の領事館から在住日本人への様々な情報が配信されてきます。自然災害などの危険情報が日本語で送られてくるので、安心して留学生活を送るために、忘れず登録しておきましょう。

※ 今回のランキングは、留学ジャーナルで毎年実施している「留学意識調査」2019年度実施アンケートの回答によるものです。

留学について不安な点

